

4月の管理

先刈りは、いぐさの生育に合わせて実施



● 葉色板による先刈り・追肥の判断

基本的な先刈りは、収穫前65日(高さ45cm)ですが、収穫前75日頃に、先刈りの高さや時期と追肥が必要かどうかの判断を、葉色板で茎色(最も長い茎の中位置で、色が濃い部分の色)を確認します。



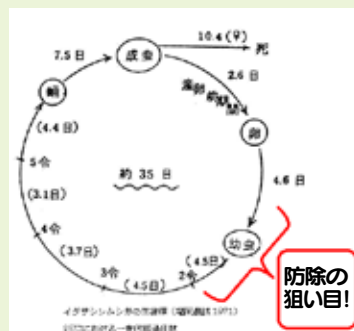
葉色板(茎色)	対 策
5.0より薄い	遅めの先刈り(60日前 45~50cm) ※ 1回目の追肥を75日前後に1/2施用し、残り1/2は5~7日後に施用する
5.0~5.5	茎色はやや淡いが、茎数は確保されている場合(65日前 やや高め)
5.5~6.0	基本的な先刈り(65日前 45cm)
6.0より濃い	早めの先刈り(70日前 40cm) ※ やや強めの先刈りで伸長中の茎の生育を抑えます

※「ひのみどり」は0.5淡く、「夕風」は0.5濃くした数値で考える
※「ひのはるか」について当面在来種と同等とする

● イグサシムシガ防除

例年、4月中旬にイグサシムシガの発蛾最盛期を迎えます。

蛾の発生を確認しながら防除を徹底しましょう。



【イグサシムシガ防除農薬】

区別	農 薬 名	散布量(kg/10a)	散布時期
粒剤	オルトラン粒剤	4.0kg	発蛾最盛期に散布
	トレボン粒剤	2.0kg	発蛾最盛期の 5~7日後に散布
	シクロサルU粒剤	1.5~2.0kg	
	シクロバック(網張後)	小袋10個	
液剤	ロムダンゾル	1000倍 100~200L	発蛾最盛期の 7日後に散布

- ◆ 幼虫に対する防除の考え方は、農薬特性により発蛾最盛期からの散布時期が異なりますので注意して下さい。
- ◆ 発蛾最盛期などのイグサシムシガに係る情報については、各営農センター及び八代地域振興局農業普及・振興課にお訪ね下さい。

！ ストップ！ 農作業事故

乗用トラクター作業の安全

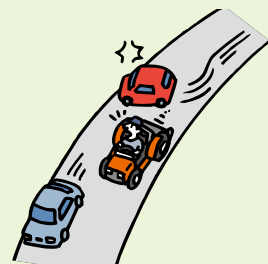
農業機械で最も普及台数が多いと考えられるのが乗用トラクターです。そして、農作業死亡事故では乗用トラクター関係の件数が最多となっており、毎年120件程度発生しています。死亡には至らない事故がどの程度発生しているか不明ですが、重傷事故、軽傷事故、さらにヒヤリ・ハットを合わせて死亡件数の300倍前後と推定されます。

ではどのような事故が発生しているのでしょうか。他の自動車などが関わっているものとトラクター単独の場合があります。自動車などが関係している事故では、接触や衝突、追突が大半です。それも夕方に多く発生しています。トラクターの速度が比較的遅いことを知らずに接近し過ぎる場合や、トラクターの存在を認識できない場合です。路上での他車とのトラブルを防ぐためには、早く見付けてもらう工夫をすることです。車体後部に反射板を付けたり、「遅い車」を示す三角マークを付けることで効果が期待できます。

人間工学専門家 石川文武

トラクター単独の事故では、トラクターの転倒・転落、作業車の転落、ひかれ、PTOシャフトや作業機への巻き込まれ、などがあります。

トラクターの転倒・転落事故から命を守るためには、安全キャブや安全フレームが有効ですが、以下のような事故が続発しています。果樹園やハウス内では作業に支障がないように2柱式で倒して使ってもよいことになっており(可倒式フレームといいます)、作業後に立って走行し、転倒・転落のときに防護できない状態になってしまうからです。さらに、耕運などでは旋回半径を小さくするために左右のブレーキ連動を解除しますが、作業後に再連結を失念して高速走行して、停止操作時に片ブレーキとなり転倒する事例も多くあります。事故の芽を摘む工夫をしてください。



蠍座
10/24 ~ 11/22

- 【全体運】 神経質になりやすい月。
- 細部を気にし過ぎず、おおらかに構えて。
- 部屋にブルー系の花を飾ると、開運の呼び水に

- 【健康運】 不規則になりがち。生活スタイル改善を
- 【幸運を呼ぶ食べ物】 ノビル